

國枝史郎 くにえ しのぶ 小説家、劇作家。明治二十一年十月十日長野縣生れ、
 昭和十八年四月八日歿（八六―一九〇二）。筆名イー・ドニ・ムニエ、デ
 ボン・ターシヤル、ベネディクト・キーンランド、史郎生、國枝史朗、
 奈良のねり、宮川茅野雄、市川末緒、柳内白來、硝子庄之助、神戸卓
 二等。早稻田大學中退。當初は劇作家として活動。大正十一年發表の
 「舊島木曾棧」（いなかじま せむぎのたか）を以て小説の専心。十五年雜誌『大眾文藝』創刊同
 人。傳奇小説作家の雄。

著書『創作探偵小説選集・第二輯（一九二七年版）』（合著・探偵趣
 味の會）平井太郎編、昭和二年一月一日春陽堂）、『生死巴』（附明
 暗・道）』（昭和五年五月十日先進社「先進社大衆文庫」）、『曉の
 鐘は西北より』（昭和五年九月十七日新潮社「長篇文庫」）、『珍談
 奇談集』（合著、昭和八年十一月十六日大日本雄辯會講談社「キンダ
 文庫」）、『民族外交の類』（合著・竹内真積編、昭和十五年七月十
 五日創倉書房）、『成田不動縁起』（昭和十七年十一月二十五日近代
 文藝社）、『飲食の地蔵』（國枝史朗名、昭和十七年十二月二十日地
 球社「射野文庫」）、『宿場の二つ火』（昭和二十年二月十五日隆文
 堂）、『おのころの婦道鑑』（昭和二十年九月二十五日櫻木書房「國民
 文藝叢書」）等。

